

製品名: TBX2/3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18704**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	79kDa

抗原情報

遺伝子名	TBX2/TBX3
別名	TBX3; T-box transcription factor TBX3; T-box protein 3; TBX2; T-box transcription factor TBX2; T-box protein 2
遺伝子 ID	6926.0
SwissProt ID	O15119/Q13207
免疫原	抗血清はヒト TBX3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

背景

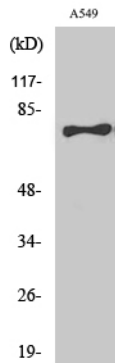
この遺伝子は、共通の DNA 結合ドメインである T ボックスを共有する、系統的に保存された遺伝子ファミリーの一員です。T ボッ

クス遺伝子は、発生過程の制御に関与する転写因子をコードしています。このタンパク質は転写抑制因子であり、四肢動物の前肢の前後軸において役割を果たしていると考えられています。この遺伝子の変異は、四肢、アポクリン腺、歯、毛、生殖器の発達に影響を及ぼす尺骨乳腺症候群を引き起こします。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが生成されますが、そのうち1つのバリエーションの全長は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：TBX3の欠陥が尺骨乳腺症候群（UMS）の原因である[MIM:181450]。UMSは、尺骨骨棘欠損、肥満、性器機能低下、思春期遅発、乳首およびアポクリン腺の低形成を特徴とする。機能：発達過程に関与する転写抑制因子。四肢のパターン形成に関与していると考えられる。類似性：TボックスDNA結合ドメインを1つ含む。組織特異性：広く発現している。

研究分野

-

画像データ



TBX2/3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析